



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2020/12/23 No.4

第24回八王子地本再建大会宣言!!

大会宣言 ~~(案)~~

本日、JR東労組八王子地本は第24回再建大会を国分寺労政会館にて開催し、新たな一歩を組合員と共に踏み出した。

18春闘から2年間続いた内部対立は、組合員に本部不信を募らせ最悪の結末となった。18春闘の“大敗北”総括をしない旧執行部は、独善的な主張を頑なに繰り返した挙句、組合員へ脱退を迫り、新労組結成をさせた。彼らは、JR東労組を会社と癒着する御用組合と巧妙に描き出すことで、自らの指導責任から組合員の目をそらしたのだ。18春闘の指導責任からの逃亡を断じて許すわけにはいかない。

JR東労組は「新生JR東労組運動宣言」を掲げ、組合員と向き合い、真実を伝え、組合員とともに歩むことを確認した。一方、八王子地本は新労組結成に伴う組合員の減少、元役員の逃亡による各機関の機能停止におかれた中、「組合員のためのJR東労組を守る八王子の会」を立ち上げ、各職場に置き去りにされた組合員との繋がりを少しずつ構築しつつ、2年間の空白を埋めるために本部派遣と共に運動を展開してきた。18春闘から止まったままの時は少しずつ動きだしている。

組合員の信頼を取り戻し、更なる組織拡大、強化を行うための方向性を示す。一つ「新型コロナウイルス感染防止の更なる追求」一つ「役員の立場優先ではなく、組合員の利益を第一義に考え自由に意見が言える組織創り」一つ「官僚体質から脱却し、つねに現実、組合員の声をもとにした運動創り」を実践する。

組合員を置き去りにせず、共に歩む新生JR東労組八王子地本をめざす。

2020年度第2四半期決算は、JR東日本の連結・単体ともに9期ぶりの減収かつ過去最低となった。会社は2021年度の収入回復は、在来線85%、新幹線80%を見込んでおり、定期収入は、2020年度末時点で約85%の水準に到達後、同水準で推移する見通しとしている。これはワクチンによる経済回復や利益確保のための固定費の削減が前提である。

私たちは雇用を守るため2年連続の赤字は何としても避けなければならない。施策へのチェック機能だけでなく、黒字経営に向け組合員と知恵を出し合い、万全な感染症対策を前提とした、雇用を守るための政策提言が必要である。今こそ、骨身を削っても雇用や職場を守り抜いた国鉄改革を教訓化すべきである。職場の、組合員の叡智を結集させよう。

本日、私たちはささやかだが確かな一歩を踏み出した。それは組合員の声に支えられた意義ある一歩であり、前を向き、未来を見据え、心を一つに出発するための一歩である。

ここに、八王子地本の再建を高らかに宣言する。

2020年12月20日
東日本旅客鉄道労働組合
八王子地方本部
第24回再建大会